

令和元年度 事務事業総点検シート(1)
[平成30年度事務事業]

一般会計		事務事業分類		詳細点検	
事務事業名		A 一般事務事業			
史跡・旧跡土地等管理事業		シート番号		08-50	
担当部署名		評価責任者(課長名)		鹿野	
文化観光 局		文化 部		文化財 課	

Ⅰ. 基本情報

基本情報	1	堺市マスタープランの政策体系に基づく事業の位置付け	政策	2	誰もが幸せで、暮らしの質の高いまちを実現します	後期実施計画の位置付け
			施策	1	歴史文化を活かしたまちづくりの推進	無
	2	事業開始年度	昭和 40 年度		終了(予定)年度	— 年度
	3	根拠法令等(法令、条例、規則、要綱等)	文化財保護法			
	4	関連計画				
5	事業実施の経緯	文化財保護法により指定された史跡指定地の恒久的な保全を図るため公有化をすすめる。指定地の適正な管理は、文化財保護法で定められている。また、本市の歴史等を伝える土地・旧跡を管理している。管理地は民家に接している土地が多く、市が土地を所有している限り、管理は必要である。 なお、令和元年度より事業の効率を高めるため「黒姫山古墳管理運営事業」を統合した。				

Ⅱ. 事業概要

事業概要	6	事業の実施主体(誰が実施しているのか。)	<input checked="" type="checkbox"/> 本庁 <input type="checkbox"/> 各区 <input type="checkbox"/> 出先機関 () <input type="checkbox"/> 市外郭団体 <input type="checkbox"/> 地域団体・市民 <input type="checkbox"/> 民間企業・NPO <input type="checkbox"/> その他 ()				
	7	事業の対象(誰を、何を対象としているのか)	管理地周辺の市民及び見学者				
	8	事業の目的(どのような状況にしたいのか)	史跡・旧跡の適切な管理並びに保護・保全を図る。 さらに市民には学習の場を提供するとともに近隣には安全で快適な環境を提供する。				
	9	事業内容(スケジュール、実施方法・手段、事業ボリュームなど)	文化財課が管理する史跡・旧跡等を適正に維持・管理するため、除草、樹木剪定、薬剤散布、環境整備等の業務と経年劣化等により破損した施設の修繕等を行う。 予算は、今年度から「黒姫山古墳管理運営事業」分を統合して計上している。				
10	直接実施以外の主な支出先	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()					
		委託業者					

Ⅲ. 投入量

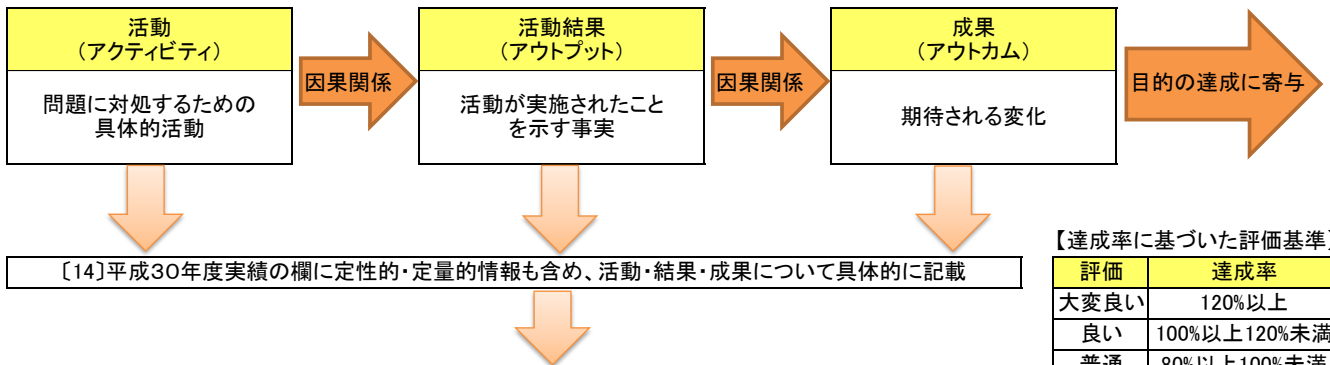
項目		単位	H28年度決算	H29年度決算	H30年度決算	R1年度予算	
事業コスト	11 事業費 (a)	千円	10,528	13,509	17,815	14,647	
	主な事業費内訳	委託料	千円	9,343	10,824	11,272	13,406
		需用費ほか	千円	977	692	1,308	1,191
		工事請負費	千円	208	1,993	5,235	50
			千円				
	財源内訳	国・府支出金	千円			424	
		受益者負担金(使用料、手数料等)	千円	1	1	2	1
		市債	千円				
		その他()	千円				
		一般財源	千円	10,527	13,508	17,389	14,646
	12	人件費 (b)	千円	4,100	4,920	6,970	9,720
13	総コスト(c)=(a)+(b)	千円	14,628	18,429	24,785	24,367	

令和元年度 事務事業総点検シート(2)

事務事業名	史跡・旧跡土地等管理事業	シート番号	08-50
-------	--------------	-------	-------

Ⅳ. 評価(測定・分析)

ロジックモデルの考え方



[14]平成30年度実績の欄に定性的・定量的情報も含め、活動・結果・成果について具体的に記載

[15]または[16]に定量的な指標、または定性的な目標を記載

【達成率に基づいた評価基準】

評価	達成率
大変良い	120%以上
良い	100%以上120%未満
普通	80%以上100%未満
少し悪い	60%以上80%未満
悪い	60%未満

事業の活動内容や成果

		平成30年度実績						
活動実績と成果	14	文化財課が管理する史跡・旧跡等を、除草、樹木剪定、薬剤散布、環境整備などの業務によるほか、経年劣化などにより破損した施設の修繕を実施した結果、近隣への損害を与えることなく安全な環境が保持でき、史跡等の適切な管理ならびに保全につながった。						
	15	指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
		施設の瑕疵に伴う事故件数	件	目標値	0	0	0	0
				実績値	0	0	0	0
				達成率	100%	100%	100%	100%
	評価	良い		良い	良い	良い		
	算出方法・設定根拠など		施設の瑕疵による事故件数。					
	16	指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
			目標値					
			実績値					
達成率								
評価								
算出方法・設定根拠など								

業績の分析

	目標を達成できた、または達成できなかった要因についての分析 (その他、関連情報に基づいた分析)
17	除草、樹木剪定、薬剤散布、環境整備を適宜実施し、年間を通じて環境を維持している。しかし、予算の範囲内の対応であるため、管理地が多く現状が一樣でないこともあり、近隣住民からの要望に早急に応えられない場合もある。

【分析のチェックポイント】

- 事業の達成度はどうでしたか。
- 5W2Hを踏まえて、実施過程に問題はありませんでしたか。
- 資源投入は適切でしたか。
- 事前想定できない外的要因の影響はありませんでしたか。
- 事業の有効性は高いですか。低いですか。